

1. 科目名 (単位数)	教育実習指導 (初等) (1 単位)	3. 科目番号	EDTE2371
2. 授業担当教員	伊藤 宗彦		
4. 授業形態	基本的には講義、実習等を行い、グループ活動等を取り入れる	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育学概論 (初等・小)・教師論 (初等)・教育課程論 (初等) の単位を取得してから履修することが望ましい。		
7. 講義概要	教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えを育成する。内容としては、教育実習の意義、目的、教育実習の概要、教育実習生としての基本姿勢・生活態度、教育実習の心構え等と、教科等の学習指導案の作成及び授業実践、教育実習日誌の作成等教育実習に必要な内容について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人(教育公務員)としての自覚をもち、使命感をもって教育実習に臨めるようになる。</li> <li>2. 教育実習での自己の課題を考え、明確にし、自信を持って教育実習ができるようになる。</li> <li>3. 道徳の指導計画・学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができるようになる。</li> <li>4. 学校の環境や生活の流れ、学級経営の実際等、教育実習に必要な事項を理解できるようになる。</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題1: 教育実習で実習生に求められる「義務」「責任」「倫理観」について、それぞれ具体的な場面を想定しながら、あなたの考えを1,000字以内で記述せよ。</p> <p>課題2: 模擬授業の学習指導案 (道徳) を提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 石橋裕子・林幸範・梅澤実・生野金三・生野桂子 著『小学校教育実習 Q&amp;A99』萌文書林、2011。</li> <li>2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編』2018(Web 版)。</li> <li>3. 東京福祉大学編『教育実習の手引き 小学校教諭一種免許状』。</li> </ol> <p>【参考書】</p> <p>東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』2015。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校教諭としての資質を理解しているか。</li> <li>2. 児童理解を通して授業研究に取り組もうとしているか。</li> </ol> <p>○受講に対し、次の内容を総合して評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度 (教科書の準備・私語・発表) 30%</li> <li>2. 学習指導案の提出 30%</li> <li>3. 模擬授業観察記録の提出 20%</li> <li>4. 模擬授業 20%</li> </ol> <p>上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>教育実習は、実習期間中、実習校で指導を受ける立場と、児童に対しては教師である立場という両面を学ぶ場である。そこでは、教師としての義務・責任・倫理観が求められる。次のことを守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教師を目指す大学生としての自覚と品位を身に付ける努力をすること (服装・身だしなみ・言葉遣い等)。</li> <li>2. 教育実習に行く学生が授業中してはいけないこと (教科書忘れ・私語・飲食・居眠り・携帯電話・遅刻)。</li> <li>3. アサシメント及びレポート課題の提出期限を必ず守ること (遅れた場合は減点)。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	第1回の時に知らせる。事前にメール等で連絡することが望ましい。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、授業について説明をする。 (特に教育実習の意義・目的・概要について考える。)	事前学習	「教育実習の手引き」を読んで要点を記録しておく。
		事後学習	教育実習の意義や目的を理解すること。
第2回	小学校の教育課程を理解するとともに、教師と児童との関係を理解する。(課題1: 教育実習で実習生に求められる「義務」「責任」「倫理観」について、それぞれ具体的な場面を想定しながら、あなたの考えを1,000字以内で記述せよ。)	事前学習	学習指導要領を読んで、小学校の教育課程を学習しておくこと。
		事後学習	課題①を仕上げること。
第3回	小学校教育の概要を学習する(教科書1 pp. 33-37)。 (課題1の提出)	事前学習	学級経営・学級担任の役割を理解すること。
		事後学習	小学校の学習指導の基本を身に付けること。
第4回	小学校学習指導の(学習指導過程、学習指導形態、発問、板書、資料、教材の工夫等)基本の確認をする。参観授業の記録の取り方を学習する(教科書1, pp. 82-86, p. 97, p. 100)。	事前学習	学習指導案の形式を学習し、分からないところを記録しておく。
		事後学習	学習指導案の形式を覚えること。また、参観記録の取り方を身に付けること。
第5回	特別の教科 道徳の学習指導案の形式・内容・作成方法を学ぶ。細案の例、主題名・主題設定の理由(児童の実態・教材観)・本時のねらい・本時の展開を書く。	事前学習	自分なりの学習指導案を作っておく。
		事後学習	教材観の書き方を覚えること。
第6回	特別の教科 道徳の内容項目を基に、道徳の学習指導案を作成し検討する。 (学習指導案のグループ内発表①)	事前学習	道徳の学習指導案を書いてみる。
		事後学習	道徳の学習指導案を推敲すること。
第7回	特別の教科道徳の学習指導案を作成し検討する。 (学習指導案のグループ内発表②)	事前学習	道徳の学習指導案を校正すること。
		事後学習	道徳の学習指導案を仕上げること。
第8回	第1回模擬授業を行う。(観察記録の提出)	事前学習	各自模擬授業の練習をしておくこと。 (第1回・道徳 5・6年生)
		事後学習	模擬授業後の反省点をまとめる。

第 9 回	第 2 回模擬授業を行う。(観察記録の提出)	事前学習	各自模擬授業の練習をしておくこと。 (第 2 回・道徳 5・6 年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめる。
第 1 0 回	第 3 回模擬授業を行う。(観察記録の提出)	事前学習	各自模擬授業の練習をしておくこと。 (第 3 回・道徳 5・6 年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめる。
第 1 1 回	第 4 回模擬授業を行う。(観察記録の提出)	事前学習	各自模擬授業の練習をしておくこと。 (第 4 回・道徳 5・6 年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめる。
第 1 2 回	第 5 回模擬授業を行う。(観察記録の提出)	事前学習	各自模擬授業の練習をしておくこと。 (第 5 回・道徳 5・6 年生)
		事後学習	模擬授業の反省点をまとめる。
第 1 3 回	第 6 回模擬授業を行う。(観察記録の提出) (課題 2 の提出)	事前学習	各自模擬授業の練習をしておくこと。 (第 6 回・道徳 5・6 年生)
		事後学習	模擬授業の反省点を提出する。
第 1 4 回	教育実習直前の準備(実習日誌の書き方・実習録の書き方、準備等)(学習指導案の提出)	事前学習	実習日誌の書き方をまとめておく。
		事後学習	実習指導の準備について学んだことを書き出しておく。
第 1 5 回	小学校教師の一日の学校での仕事について、学習のまとめをする。実習終了時の挨拶と礼状の書き方を学ぶ。	事前学習	教師の一日の仕事の流れを覚えておく。
		事後学習	教師としての挨拶・礼状を書いておく。